

都市再生整備計画(第2回変更)

掛川駅周辺地区

静岡県 掛川市

令和5年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	静岡県	市町村名	かけがわ 掛川市	地区名	かけがわまきしゆうへん 掛川駅周辺地区	面積	198	ha
-------	-----	------	-------------	-----	------------------------	----	-----	----

計画期間	令和	2	年度	～	令和	6	年度	交付期間	令和	2	年度	～	令和	6	年度
------	----	---	----	---	----	---	----	------	----	---	----	---	----	---	----

目標

- 【大目標】 掛川城下と融合し、誰もが安心して楽しめるにぎわいのある中心市街地の創出
 【小目標】 ① 掛川駅と掛川城下を結ぶ歩行ネットワーク
 ② 誰もが安全で安心して移動できる歩行空間の創出
 ③ 中心市街地におけるにぎわいの創出

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含み、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 本地区は、JR掛川駅北口であり、本市の中心市街地が広がる地区である。本地区においては、平成10年度から、「緑の精神回廊」整備を進めてきた。この「緑の精神回廊」は、掛川城公園を中心とした「教育・文化・商業・観光ゾーン」と新市調査や生物循環パビリオンがある「行政・財政・環境ゾーン」の2核と、逆川堤防の水辺コース・逆川回廊を横軸とした2核1モジュールとして、誰もが安全で快適に利用できるよう、防災と美観を兼ね備えた緑あふれる歩道のネットワークとして、重点的整備を推進してきた。
 また、「中心市街地活性化基本計画」において、掛川城公園を中心とした東の核「教育・文化・商業・観光ゾーン」に、「掛川城周辺の歴史文化ゾーンと駅周辺の商業ゾーン」を設定し、中心市街地としての賑わいを目指している。
 本地区において、にぎわいの創出を図り、中心市街地の活性化を図ることをねらいとし、JR掛川駅と掛川城下の地区に人の流れを創出するために、ハード面からの対応が必要とされている。

まちづくりの経緯及び現況

掛川市は、静岡県の西部に位置し、東海道新幹線、東海道本線、東名高速道路、新東名高速道路といった広域交通の大動脈が東西に走り、市域中央部には掛川駅及び掛川インターチェンジが設置されており、中東遠都市圏の玄関口として機能している。また、掛川駅には、遠州地方・浜名湖北岸地域を結ぶ天竜浜名湖鉄道が接続しており、沿線住民の日常生活を支える重要な鉄道路線として機能している。このような交通の要衝地であることの優位性を活かし、本市では企業誘致や定住促進に積極的に取り組んできた結果、中東遠都市圏の中核を成す都市として着実な発展を遂げてきた。
 さらに、本地区は「掛川市立地適正化計画」において、都市機能誘導区域に設定されるとともに、「掛川市歴史的風致維持向上計画」においても、掛川城下重点区域として設定された。これにより本地区は、掛川地区の都市機能の集積を図りつつ、掛川城下の歴史的風致の維持向上を進めていく。都市機能と歴史文化が融合して集積していく中心市街地として位置づけられたこととなる。
 本地区においては、平成22年10月より、けつトラ市実行委員会により「街なかストリートけつトラ市」(毎月第3土曜日)の開催や、友引ストリートカフェ実行委員会による「友引ストリートカフェ」、あるいは平成31年1～2月に市民主体で実施された活動など、官民協働によるまちづくり活動が展開されているものの、地区人口の減少、少子高齢化等が進行し、賑わいの喪失や空き地や空き店舗の増加が顕著になりつつある。

課題

- ① 誰もが安全で安心して地区内を移動できるようにすることが求められる。
- ② JR掛川駅と掛川城下地区のネットワークを強化することが求められる。
- ③ JR掛川駅の北口と南口の移動の円滑化を図ることが求められる。

将来ビジョン(中長期)

- ① 掛川市総合計画(2016年～2025年) 将来像「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」
- ② 掛川市都市計画マスタープラン(目標年度2028年)「東中学校区まちづくり構想」～豊かな自然と城下町文化を活かしながら、安全・安心・にぎわいのある生活と交流を生むまちづくり～を目指し、本区域を「活性化と歴史的まちづくり」の中心市街地と位置づけ。
- ③ 掛川市立地適正化計画(2018年～2028年) 本地区は、都市機能誘導区域として位置づけ。
- ④ 掛川市歴史的風致維持向上計画(2017～2026年) 本地区は、「掛川城下にみる歴史的風致」「報徳運動にみる歴史的風致」の二つの歴史的風致が位置づけられるとともに、掛川城下重点区域として設定。
- ⑤ 掛川市自治基本条例 ～「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」の実現を目指し、本区域をはじめ全市域において、市民、市議会、行政による協働のまちづくりを推進

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 安全な移動ができる歩行環境の向上 ・誰もが安全に移動できるよう、歩道等の歩行空間の改善を図るとともに、JR掛川駅の南北間の移動の円滑化を図る。</p>	<p>○高質空間形成施設 ・ほのぼのバス(エレベータ)整備 ・点字ブロック整備事業 ・掛川駅広場バリアフリー化</p>
<p>整備方針2 回遊性を促す歩行ネットワークの強化 ・中心市街地の回遊性の強化を図るために、JR掛川駅から掛川城下地区までの歩行者ネットワークの強化を図る。</p>	<p>○高質空間形成施設 ・ほのぼのバス(エレベータ)整備 ・点字ブロック整備事業 ・掛川駅広場バリアフリー化</p>
その他	
<div style="border: 1px solid black; height: 300px; width: 100%;"></div>	

<p>掛川駅周辺地区(静岡県掛川市)</p>	<p>面積 198 ha</p>	<p>区域 北門、天王町、弥生町、柳町、中宿、谷の口町、城北1丁目・2丁目、城西1丁目・2丁目、肴町、紺屋町、駅前、中町、城下、連雀の全部と七日町、二瀬川、中央1丁目・2丁目、仁藤町、塩町、掛川、十九首、下俣、仁藤、南西郷、下西郷、上西郷、下垂木の一部</p>
------------------------	------------------	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

